

平和市長会議への加盟を求める！→ 市は平和施策の充実に大変有効と答弁

平和市長会議とは、1982年に広島・長崎の主催により設立した国連登録のNGOで、現在世界134カ国、約3000都市が加盟し、世界各地で平和推進活動を展開しています。

川越市は平和都市宣言しているながら、3度の加盟依頼を、周辺市が加盟していないかったことを理由に保留してきました。

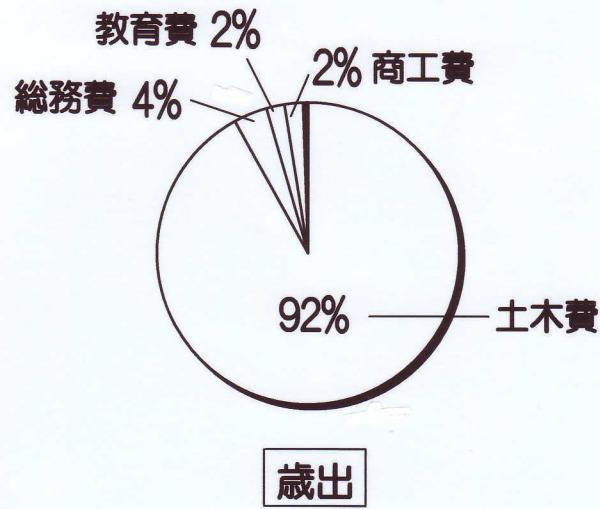
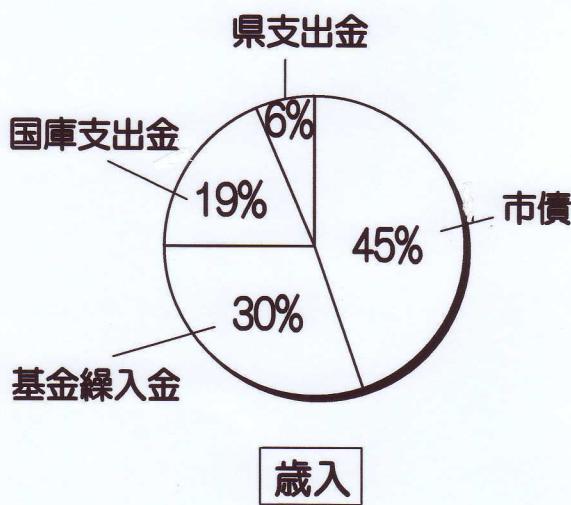
今回の一般質問では、平和市長会議の目的である、「核廃絶の市民意識を国際的規模で喚起し、人類の共存を脅かす飢餓・貧困・難民・人権・環境問題等の解決のために努力することによって世界恒久平和の実現に寄与すること」に川越市も共感出来るのかを確認し、出来るのであれば加盟すべき！と提案しました。



【21年度補正予算】・・・道路維持・新設予算に重点配分

(舗装、側溝、歩道、補修、電線地中化、ゆずりあい道路、幹線道路、生活道路改良 等の整備)

今回の補正予算は、総額29億1423万9千円で、その内約28億円が土木費となっています。市民要望が多く、これまでなかなか予算がつかなかった部分に予算がつくことになりました。



グラフに表れていない民生費は珍しく約1億4千万円のマイナス補正となりました。これは、これまでの健康長寿奨励金を廃止し、長寿祝い金(*1)とすることによるものです。

市債残高900億に迫る！

上の円グラフを見ても分かるように、補正予算といつても、その財源は市債（借金）と基金繰入金（貯金の取り崩し）で75%を占めます。前号でもお示ししたように、市債残高は900億円に迫る勢いです。財政調整基金も、川越市の財政規模から言えば、30億円位の積立は必要と言われているにもかかわらず、現在は5億円余りという現状です。今後も厳しい財政状況が続きます。

(*1) 長寿祝い金の額

77歳→1万円、88歳→2万円
99歳→3万円、
100歳以上→5万円

- ★ こんな議案が議決されました ★
- ・今の市長の任期は3期（12年）まで
 - ・市長給与を2割、副市長給与を1割カット
 - ・保育所整備基金条例ができました
- （詳しくは7月25日発行号の議会だよりまたは広報川越をご覧下さい。）

